

チ	ー	ム	名	土居歩暉	【取組概要】 現在ETC2.0や車に搭載されたセンサにより、急ブレーキ・急ハンドルなどの挙動が把握可能である。また、自動運転に必要な技術として準天頂衛星みちびきをはじめとしたセンチメートル級測位やダイナミックマップも実現しつつある。 これらの技術を自動車以外に活用できるのではないかと考え、自転車での衛星測位とダイナミックマップの活用を検討した。活用方法は多岐に渡ると考えられるが、今回は以下の案を提案する。
メ	ン	バ	ー	・土居歩暉（法政大学大学院 デザイン工学研究科）	

提案するアイデア

衛星測位・ダイナミックマップを活用して自転車の移動履歴・挙動を把握する

- GPSや加速度を計測するセンサーを自転車に装着
- センサーにより移動履歴を把握
- 移動履歴を収集
- センサー・移動履歴・ダイナミックマップを活用

活用案

Plan1
安全度に応じたサービス提供

Plan2
リアルタイム警告

Plan3
危険箇所マップ

Plan4
維持管理や注意喚起

期待できる効果

- 安全運転の推進
- 事故防止
- 潜在的な危険個所の把握と共有
- 効率的な維持管理・注意喚起に貢献

• **成果や補足説明等**
 センサーを設置した人に対しては、公営駐輪場の割引をおこなったり、レンタサイクル事業者と連携して実施することにより、センサーの普及・移動履歴の収集を図る。また、本提案は対象地域に限らず活用可能だと考えられる。